

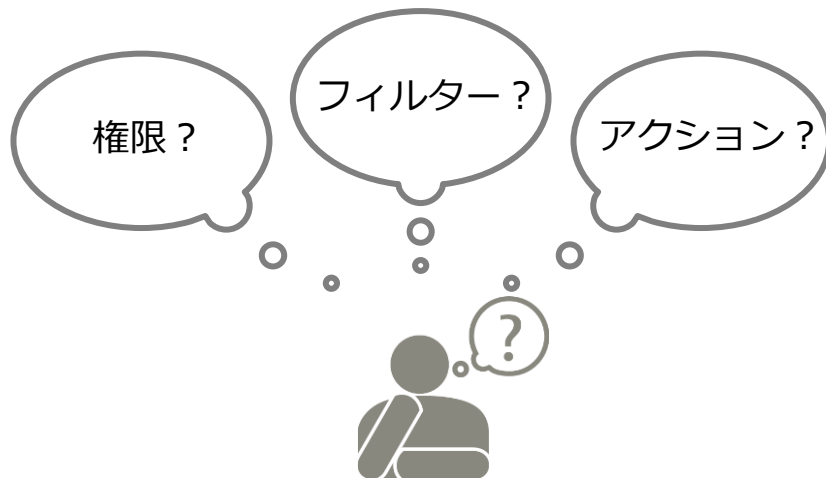


Tips

Enterprise版のセキュリティ機能である、キャプチャー禁止文字列（NGワード）の設定や権限などの設定手順および設定のポイントをご紹介します。

## はじめに

Enterprise版のセキュリティ機能を使いこなすには、「権限」や「フィルター」、「アクション」といったものは何なのか、また、それらの関係がどうなっているのかについて理解することが大切です。



たとえば、以下のようなセキュリティ要件があった場合…

## セキュリティ要件

- ①マイナンバーの画面や個人評価情報の画面のキャプチャーには制限をかけたい
- ②管理者は、個人評価情報の画面はキャプチャーできるが、一般利用者はどちらの画面もキャプチャーできないようにしたい
- ③管理者でも、プリンター以外には出力できないようにしたい

①のような、「マイナンバーの画面」「個人評価情報の画面」といった、制限を掛ける対象をNGワードとして定義する単位のことを「フィルター」と呼び、「フィルター設定」メニューで設定します。

②のような、「管理者」、「一般利用者」といった、制限を適用する単位のことを「権限」と呼び、「権限設定」メニューで設定します。

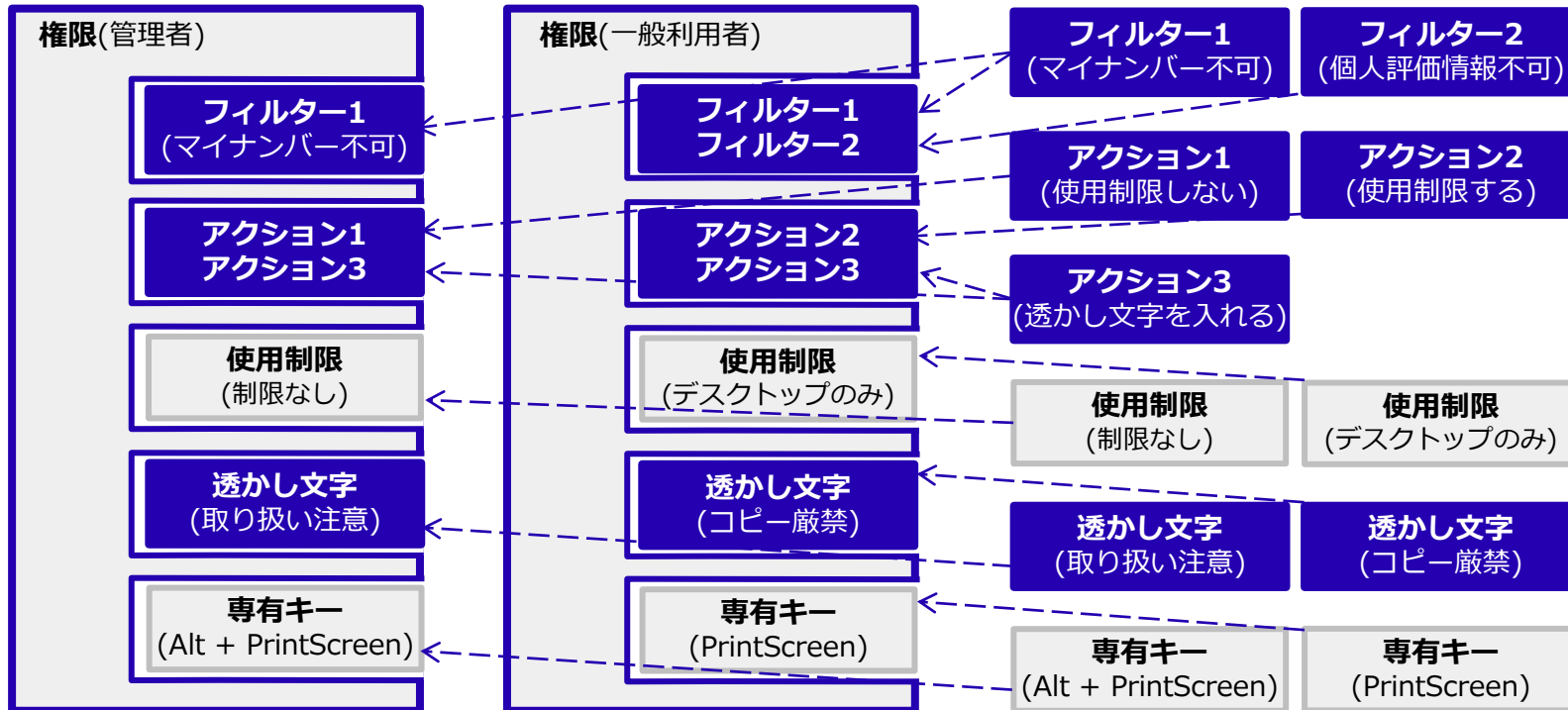
③のような、「プリンター」「イメージファイル」といった、出力先の制限を定義するものを「アクション」と呼び、「アクション設定」メニューで設定します。

他にも「使用制限設定」「透かし文字設定」「専有キー設定」などがあり、これらについても「権限」ごとに設定していきます。



## セキュリティ設定のイメージ

「権限」ごとに、作成した「フィルター」や「アクション」などを設定します。※設定手順はP.4以降に記載。



## セキュリティ設定の手順について

以下の手順でセキュリティ設定をしていきましょう。 ※この例では「使用制限設定」「専有キー設定」は含んでいません。

### 手順 1. 権限名の設定

権限設定メニューで、「管理者」と「一般」を設定します。

### 手順 2. NGワードの設定

フィルター設定メニューで「マイナンバー」「社外秘」「caution」をNGワードとして設定します。

### 手順 3. 権限にNGワード（フィルター）を適用

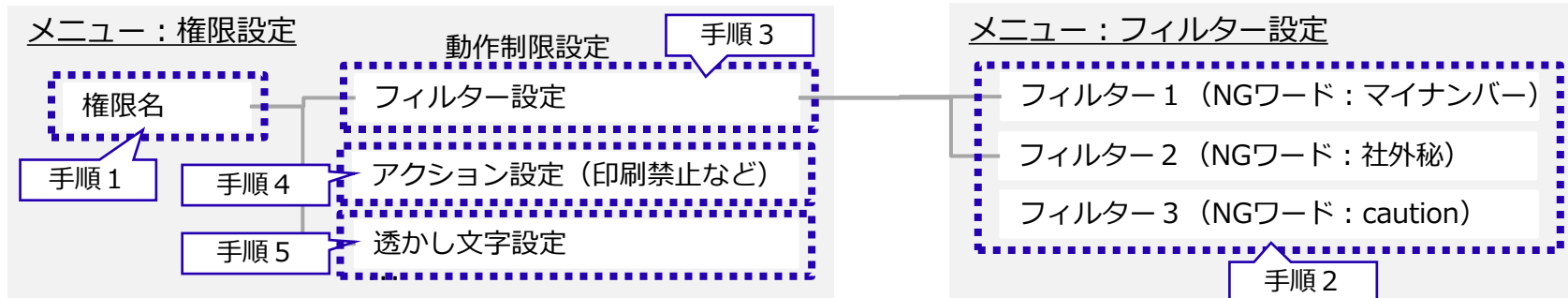
設定した権限名「一般」に、設定したNGワード「マイナンバー」と「社外秘」を適用します。

### 手順 4. 権限にアクションを設定

アクション設定タブで出力可否（印刷禁止など）やアラート表示有無などの設定をします。

### 手順 5. 権限に透かし文字を設定

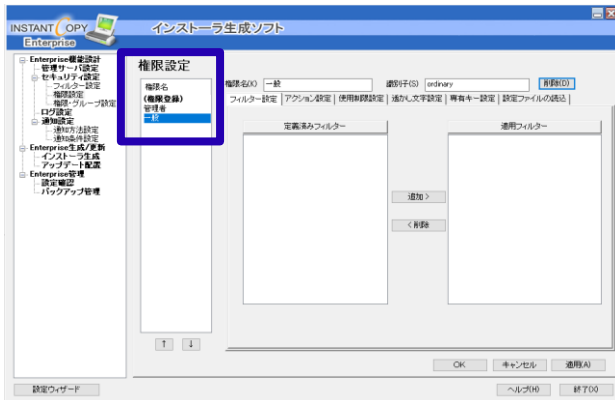
透かし文字に「コピー禁止」を設定します。



## 手順 1. 権限名の設定

利用者端末／利用者グループごとに適用する権限名を割り当てることができます。  
これにより利用者の権限レベルに合わせて、セキュリティ設定（フィルター設定、アクション設定など）が異なる INSTANTCOPY を利用することができます。

### ▼[セキュリティ設定]－[権限設定]画面－[権限名]



- **権限名**  
利用者の部門、または職責など、利用者ごとに権限名を作成します。
- **識別子**  
権限名の識別子を設定します。  
INSTANTCOPY Enterprise 生成時に識別子名でフォルダーを作成し、その配下に INSTANTCOPY Enterprise のインストーラが生成されます。  
また、識別子は大文字/小文字を区別しません。
- **注意事項**  
権限は最低限 1 件、必要です。権限が 1 件も作成されていない場合は、以下を操作できません。
  - ・インストーラ生成の実行
  - ・アップデート配置画面の「自動配置」、「手動配置」の実行

### 【設定例】

- ・管理者向け、一般向けの 2 つの権限を作成する (Tips6と同じ名前を設定しています)

	設定値(1)	設定値(2)
権限名	管理者	一般
識別子	admin	ordinary

## 手順2. NGワードの設定

フィルター設定で、画面キャプチャーを制限する条件（NGワード）とセキュリティレベルを設定します。

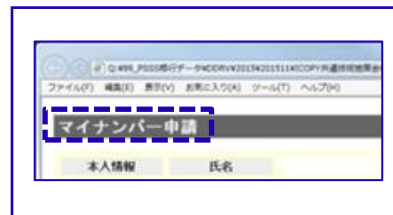
【設定例】

権限名：一般

NGワード	セキュリティレベル	アクション	
マイナンバー	レベル3(高)	イメージ出力	×
		プリンター印刷	×
社外秘	レベル2(中)	イメージ出力	×
		プリンター印刷	○

フィルター設定

画面内に「マイナンバー」を含む場合

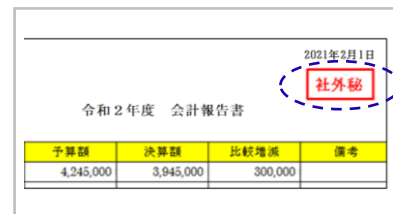


プリンター出力できない



イメージファイル出力できない

画面内に「社外秘」を含む場合



プリンター出力できる

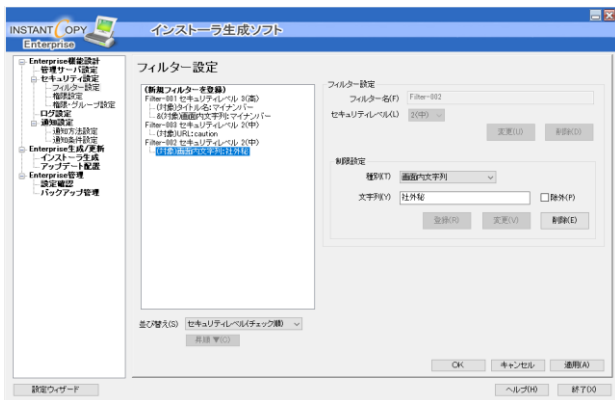


イメージファイル出力できない

権限名：一般



## ▼[セキュリティ設定]-[フィルター設定]画面



- **フィルター名**  
任意の名称を設定します。
- **セキュリティレベル**  
3(高) / 2(中) / 1(低)から選択します。※この項目はP.11のアクション設定で使います。詳細はP.11へ。
- **種別**：種別は以下の3つから選択します。  
 タイトル名 …ウィンドウのタイトルバーの文字列を設定します。  
 URL …URLを設定します。※ Internet Explorer、Microsoft Edge(Chromium)IEモードに対応  
 画面内文字列 …任意の文字列を設定します。
- **文字列**  
文字列は制限設定または除外とする文字列を設定します(部分一致)。
- **除外(チェックボックス)**  
制限設定に一致した場合でも除外(キャプチャー許可)とする場合設定します。

### 【設定例】

- (1) Filter-001は、セキュリティレベル3とし、取得対象画面のタイトル名と画面内に「マイナンバー」を含む場合とする。
- (2) Filter-002は、セキュリティレベル2とし、取得対象画面内に「社外秘」を含む場合とする。
- (3) Filter-003は、セキュリティレベル2とし、ブラウザ(IE)のURLに「caution」を含む場合とする。

		設定値(1)	設定値(2)	設定値(3)
フィルター名		Filter-001	Filter-002	Filter-003
セキュリティレベル		3(高)	2(中)	2(中)
制限設定 (1)	種別	タイトル名	画面内文字列	URL
	文字列	マイナンバー	社外秘	caution
	除外	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
制限設定 (2)	種別	画面内文字列	—	—
	文字列	マイナンバー	—	—
	除外	<input type="checkbox"/>	—	—

# セキュリティ設定の基本を押えよう (8/13)

## フィルターチェック対象範囲

制限設定の種別により、取得対象画面のチェック対象範囲が異なります。

取得対象ごとの各フィルターのチェック対象範囲は、下記の通りです。

取得対象	種別	タイトル名	URL	画面内文字列
デスクトップ全体		デスクトップ画面全体		
1番目のディスプレイ全体		デスクトップ画面全体		1番目のディスプレイ画面
2番目のディスプレイ全体		デスクトップ画面全体		2番目のディスプレイ画面
マウスカーソルのあるディスプレイ全体		デスクトップ画面全体		マウスカーソルのあるディスプレイ画面
選択範囲		デスクトップ画面全体		範囲選択した画面
アクティブウィンドウ		アクティブウィンドウ画面		
アクティブウィンドウ (タイトル、枠なし)		アクティブウィンドウ画面		アクティブウィンドウ (タイトル、枠なし) 画面
オブジェクト		選択したオブジェクトを含むウィンドウ画面		選択したオブジェクト画面

### (補足) 権限設定-「セキュリティレベル」「アクション設定」留意事項

複数のフィルターが設定された場合、セキュリティレベルの高い順にチェックされ、条件に該当した場合、そのフィルターのセキュリティレベルに対応したアクションを実行します。(セキュリティレベルの高いフィルターが優先されます。)

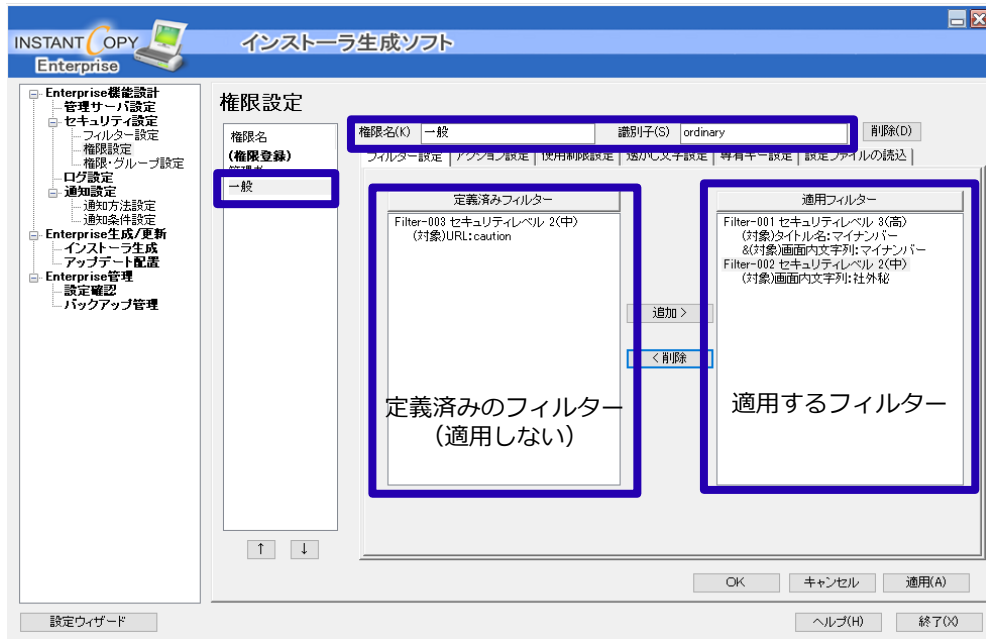
このため、アクション設定はセキュリティレベルの高い順に設定してください。



## 手順3. 権限にNGワード（フィルター）を適用

権限名ごとに、定義済みフィルターから適用するフィルターを選択します。  
（「権限名」と「フィルター設定」を関連付けします）

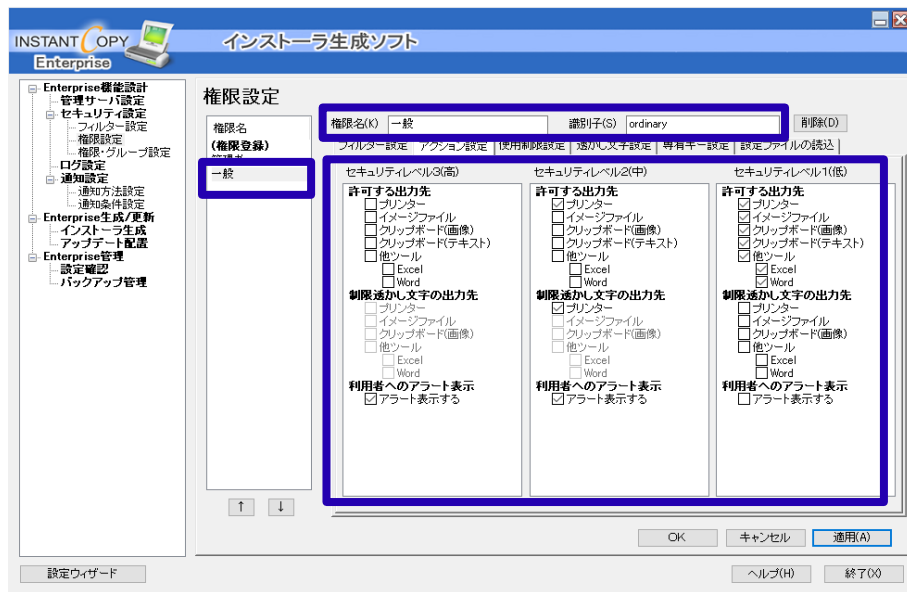
▼[セキュリティ設定]－[権限設定]画面－[フィルター設定]タブ



## 手順4. 権限にアクションを設定

権限名ごとに、セキュリティレベル(3(高)/2(中)/1(低))に応じたアクション設定を行います。出力先の動作制限、画像印字(透かし文字)の設定、利用者へのアラート表示を設定します。

▼[セキュリティ設定]-[権限設定]画面-[アクション設定]タブ



- 許可する出力先  
出力を許可する場合にチェックを入れます。
- 固有文字列を印字する出力先  
出力時の固有文字印刷をする場合にチェックを入れます。  
※画像データに印字する固有文字列(透かし文字)は[固有文字列印字設定]タブで設定します。
- 利用者へのアラート表示  
利用者端末での制限操作が行われたときに、アラート表示する場合にチェックを入れます。

# セキュリティ設定の基本を押えよう (11/13)

## 【設定例】

- セキュリティレベル3では、すべてのキャプチャーの出力を制限（禁止）
- 制限操作時に、アラートを表示

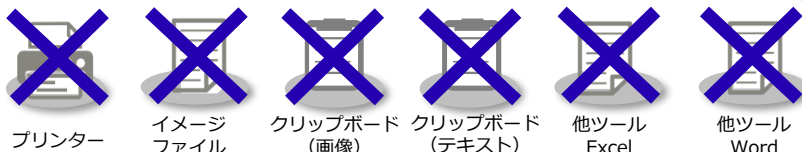
権限名(K) 一般 識別子(S) ordinary 削除(D)

フィルター設定 | アクション設定 | 使用制限設定 | 透かし文字設定 | 専有キー設定 | 設定ファイルの読込

セキュリティレベル3(高)	セキュリティレベル2(中)	セキュリティレベル1(低)
<b>許可する出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>許可する出力先</b> <input checked="" type="checkbox"/> プリンター <input checked="" type="checkbox"/> イメージファイル <input checked="" type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input checked="" type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>許可する出力先</b> <input checked="" type="checkbox"/> プリンター <input checked="" type="checkbox"/> イメージファイル <input checked="" type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input checked="" type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input checked="" type="checkbox"/> 他ツール <input checked="" type="checkbox"/> Excel <input checked="" type="checkbox"/> Word
<b>制限透かし文字の出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>制限透かし文字の出力先</b> <input checked="" type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>制限透かし文字の出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word
<b>利用者へのアラート表示</b> <input checked="" type="checkbox"/> アラート表示する	<b>利用者へのアラート表示</b> <input checked="" type="checkbox"/> アラート表示する	<b>利用者へのアラート表示</b> <input type="checkbox"/> アラート表示する

レベル3(高) 設定例

セキュリティレベル3(高)		凡例) <input type="checkbox"/> 設定しない、 <input checked="" type="checkbox"/> 設定する
許可する出力先	プリンター イメージファイル クリップボード (画像) クリップボード (テキスト) 他ツール (Excel) 他ツール (Word)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
制限透かし文字の出力先	プリンター イメージファイル クリップボード (画像) クリップボード (テキスト) 他ツール (Excel) 他ツール (Word)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
利用者へのアラート表示	アラート表示する	<input checked="" type="checkbox"/>



# セキュリティ設定の基本を押えよう (12/13)

## 【設定例】

- セキュリティレベル2では、プリンターのみ出力を許可。出力時に「コピー禁止」の透かし文字を入れる。
- 制限操作時に、アラートを表示

権限名(K) 一般 識別子(S) ordinary 削除(D)

フィルター設定 | アクション設定 | 使用制限設定 | 透かし文字設定 | 専有キー設定 | 設定ファイルの読込

セキュリティレベル3(高)	セキュリティレベル2(中)	セキュリティレベル1(低)
<b>許可する出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>許可する出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>許可する出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> クリップボード(テキスト) <input type="checkbox"/> 他ツール <input checked="" type="checkbox"/> Excel <input checked="" type="checkbox"/> Word
<b>制限透かし文字の出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>制限透かし文字の出力先</b> <input checked="" type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word	<b>制限透かし文字の出力先</b> <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> イメージファイル <input type="checkbox"/> クリップボード(画像) <input type="checkbox"/> 他ツール <input type="checkbox"/> Excel <input type="checkbox"/> Word
<b>利用者へのアラート表示</b> <input checked="" type="checkbox"/> アラート表示する	<b>利用者へのアラート表示</b> <input checked="" type="checkbox"/> アラート表示する	<b>利用者へのアラート表示</b> <input type="checkbox"/> アラート表示する

レベル2(中)  
設定例

## セキュリティレベル2(中)

凡例)  設定しない、  設定する

許可する出力先	プリンター イメージファイル クリップボード(画像) クリップボード(テキスト) 他ツール(Excel) 他ツール(Word)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
制限透かし文字の出力先	プリンター イメージファイル クリップボード(画像) クリップボード(テキスト) 他ツール(Excel) 他ツール(Word)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
利用者へのアラート表示	アラート表示する	<input checked="" type="checkbox"/>



プリンター



イメージ  
ファイル



クリップボード  
(画像)



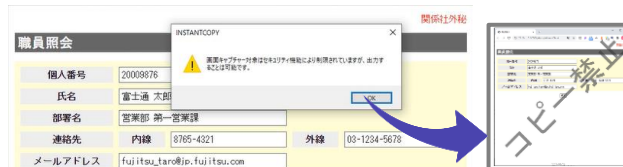
クリップボード  
(テキスト)



他ツール  
Excel



他ツール  
Word



## 手順5. 権限に透かし文字を設定

透かし文字をいれる場合は「透かし文字設定」を設定します。

▼[セキュリティ設定]ー[権限設定]画面ー[透かし文字設定]タブ



- 通常透かし文字  
通常操作を行った時に画像に印字される透かし文字です。  
文字列① 印字位置はイメージの中央  
文字列② 印字位置はイメージの下部
- 制限透かし文字  
制限操作を行った時に画像に印字される透かし文字です。  
文字列① 印字位置はイメージの中央  
文字列② 印字位置はイメージの下部
- 画面キャプチャーへの透かし文字印字イメージ  
「文字列①」および「文字列②」を印字した際のイメージプレビューを表示します。

文字列①と②のエディットボックスに下記表の「変数名」を入力することで、該当変数名を「変数値」に設定される内容に置換します。

変数名	変数値
%USERID%	ログインユーザーID
%IPADRS%	IPアドレス
%DATE%	システム日付 (YYYY/MM/DD)
%TIME%	システム時間 (HH:MM:SS)
%HOST%	ホスト名

### 【初期設定】

		設定値
通常透かし文字	文字列①	—
	文字列②	—
制限透かし文字	文字列①	コピー禁止
	文字列②	%DATE% %USERID%